



税に関する作文

沖縄国税事務所は11月11日(水)に、2020年度の「中学生・高校生の税に関する作文」の受賞者を発表しました。本校生徒の活躍が以下の通りでした。

【高校生の部】

国税庁長官賞 2年4組 米川太陽
県教育長賞 2年2組 徳元陽菜

おめでとうございます。

うれしい話 第二弾

7月に続き、今回もまた、うれしい話がありました。山里にお住いの町田さん(84歳)から電話がありました。次のように話していました。

11月11日(水)の夕方、買い物帰り、重い荷物を持っていると後方より「持ちましょうか?」と優しい声をかけられたそうです。普段、年寄で疎外感を覚える中、長身で細くて可愛い高校生に声をかけてもらい、感動し大喜びだったそうです。その後帰宅した後、家族に「今日ね、天使に声をかけられたのよ。」と何度も話をしたようです。

どこの制服かわからなかったが、球陽の生徒に違いない!と断言していました。

「それは、私です。」なんて言い出さないはずなので、是非こういう素晴らしいことがあったことを皆に伝えてほしいとの事でした。

町田さんは、沖縄タイムスに年に3度ほど投稿するらしく「新聞投稿でもしようかしら。。。。」とっていました。

いつでも心優しく、人に接することができる人になりたいものですね!



高等学校新人体育大会

高校新人体育大会の推戴式を10月30日(金)の5校時にオンラインで行いました。各教室での応援ありがとうございました。その結果は下記の通りでした。

男子テニス

団体：2回線進出
シングルス：山城慎斗、米川太陽(出場)

女子テニス

シングルス：栗山藍(2回戦進出)、佐久間結良(出場)

男子バドミントン

団体：2回戦進出
ダブルス：山里琉盛・上江洲安希(出場)
シングルス：銘苅怜大(2回戦進出)

女子バドミントン

団体：ベスト8
ダブルス：大城利奈子・松村咲妃(3回戦ベスト16)
シングルス：大城利奈子(2回戦進出)

男子バスケットボール

2回戦進出(1回戦：不戦勝)

女子バスケットボール

1回戦出場

男子ハンドボール

2回戦出場

女子ハンドボール

1回戦出場

男子卓球

団体：ベスト8
ダブルス：宮城青・近藤大雅(出場)
勝中友司・野原朝尋(出場)
シングルス：勝中友司(出場)、宮城青(2回戦進出)
近藤大雅(2回戦進出)、野原朝尋(2回戦進出)

女子卓球

団体：ベスト4・・・九州大会進出
ダブルス：東もも・眞喜屋祈穂(出場)
シングルス：嵩元直美(出場)、東もも(出場)
奥間せかい(2回戦進出)
眞喜屋祈穂(3回戦進出ベスト16)

剣道

個人：新里美乃(2回戦進出)



アドラーの言葉

いつも愚痴を言ったり腹を立てているあなたへ
「アドラーからの警告」

「過去と他人は変えられない。しかし、今ここから始まる未来と自分を変えられる」

アドラーを源流とする人間性心理学に属するエリック・バーンの言葉です。

この考え方を活かす上で大切なのは「本当はどちらが悪いのか?」という「原因」を追及することはムダだ、ということです。仕事や家庭において裁判官は不要です。「どちらが悪かったのか」に、時間や労力を注ぎ込むくらいならば、その分のエネルギーを未来の解決に費やす方がはるかに生産的です。ですから、実際には上司や部下、配偶者などに非があったとしても「今、自分にできること」だけを見ればいい。もしも相手に気づいてほしいことがあるならば、気づかない相手を責めるのではなく、自分の伝え方を変えるのです。自分の言葉が説得力を持つように、相手から信頼される努力をすべきなのです。健全な人は、たとえ100%他人が悪い、と思えるような状況でも、「今、自分にできること」だけを見てエネルギーを注ぎ込みます。不健全な人は過去を愚痴り、他人の悪口を言い、自分が被害者だと訴えて同情を求め、自らは何も行動を起こしません。どちらの人生が幸福になるか。言わずもがなではないでしょうか。